

Press Release

2020年2月

## アウトメカニカ上海 2019 15 回目の開催で過去最大の規模を記録

メッセフランクフルト ジャパン(株)  
海外見本市チーム  
Tel. 03-3262-8444  
Fax 03-3262-8442  
E-mail. [info@overseas-fairs.com](mailto:info@overseas-fairs.com)  
102-0072 東京都千代田区  
飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F

2019年12月3日(火)ー6日(金)の4日間、国家会展中心(中国・上海)にてアウトメカニカ上海が開催されました。15回目を迎えた本見本市には、さらに幅広い業界プレイヤーが出演・来場し、盛況のうちに閉幕しました。今回の開催では、“オートモーティブ・エコシステム”という独自のコンセプトのもと、自動車の最新動向を捉えるとともに、併催プログラムではさらに広い分野を取り上げ、裾野の広い業界の製品・技術領域をアウトメカニカ上海という見本市にまとめ上げました。

### <アウトメカニカ上海 2019 開催結果>

- 出展社数: 6,590社 / 46カ国・地域 +5% (前回: 6,269社 / 43カ国・地域)
- 出展面積: 360,000㎡ +3% (前回: 350,000㎡)
- ホール数: 14 (前回: 13)
- 来場者数: 159,728名 / 149カ国・地域 +6% (前回: 150,568名 / 145カ国・地域)
- バイヤー視察団数: 165 / 24カ国・地域 (前回: 162 / 22カ国・地域)
- パビリオン数: 19 (前回: 19)
- 併催イベント数: 65 (前回: 57)

本見本市を統括するメッセフランクフルト(香港)の Fiona Chiew は、「今年のアウトメカニカ上海は、あらゆる点で期待を超える開催となりました。より広いコミュニティと市場の主要な発展分野を網羅したことで、出展者数と来場者数共に大きく増加しました。各出展者が示す業界の今後の方向性を我々は常に見本市に反映させています」と話しました。

アウトメカニカ上海の独自のコンセプト“オートモーティブ・エコシステム”は、近年の自動車業界のバリューチェーンの急速な進歩に対応して考案されました。メーカー、流通業者、小売店、サービスプロバイダだけでなく、研究機関、教育研修機関、保険会社、スタートアップ企業、関連組織を含めることで、より包括的な見本市にするという主催者の構想が来場者から高く評価された結果、見本市は全ての数値において記録を塗り替える結果となりました。

アイシン精機、デンソーを始め、Blue-Point、Bosch、BPI、Brembo、Carzone、CassTime、China Changan、Continental Automotive、ContiTech、CRRC、Delphi、EURO REPAR、FAWER、Jauto、Launch、Magneti Marelli、Michelin Lifestyle、MOTUL、SAIC MOTOR、SATA、Valeo、Wanan、ZF など、主要な企業が前回に引き

[www.jp.messefrankfurt.com/tokyo/ja/automechanika-shanghai.hk.messefrankfurt.com](http://www.jp.messefrankfurt.com/tokyo/ja/automechanika-shanghai.hk.messefrankfurt.com)

続いて出展しました。また、日立化成、Bangbang、CATARC、DOUBLE COIN、FAW-Volkswagen、Huasheng、Knorr-Bremse、Sinopec Lubricant、SMVIC、SUNFULL、TRIANGLE など、数多くの企業が新たに出展しました。

各製品分野および新規エリアの拡大に、当見本市の成長を見ることができます。Tomorrow's Service & Mobility エリアでは、新しい技術を紹介するとともに、ネットワークや知識を共有するというアイデアが具体的に展示されました。この進化する概念を象徴的に示したのが、Tomorrow's Service & Mobility-ICVIC ゾーンと Korean Plug-in ゾーンです。いずれもスタートアップ企業や新興企業による最新のデジタル革命の紹介に加え、より有意義な議論とコラボレーションの機会を推進することで、業界、大学、研究機関の協力を促すことを目的に設置されました。さらに、将来のスマートバス停や電動バスを中心に、リアルタイムの情報を統合した最新のデータ管理および接続ソリューションも紹介されました。

それ以外のゾーンでは、アフターサービス市場で進んでいる多くの変革が紹介されました。一例に、消費者の行動パターンの変化により、パーソナル化と自動車でのレジャー体験に重点が置かれるようになったことを受け、中国におけるオートモーティブ・ライフスタイルが再定義されつつあります。その結果、新しく設置された Customising セクターでは、市場の需要拡大に応えることで、幅広い製品展示を見つけることが可能となりました。なかでも内装、外装、高性能カスタマイズ、自動車用照明は特に大きく発展しました。関連する Motorsport & High Performance ゾーンは国際的なレース競技、改良部品、および高性能自動車が大々的に展示され、多くの来場者を惹きつけました。

さらに、Repair & Maintenance ゾーンでは、成熟しつつある自動車業界のニーズに応え、ワークショップや診断機器、工具、ボディ、塗装、車体洗浄を含めた成長分野を幅広く紹介しました。Baozhongbao、BETAG、CELETTE、Dooocar、GYS、MAXIMA、Stronger、YATU、YOKISTAR など、影響力の大きいプレイヤーが注目を集めました。このゾーンは、製品を幅広く網羅しており、事故車の修理、環境に配慮したスプレー製品、防錆加工、高度な塗装システム・機器に焦点を当てる Body & Paint の製品も展示しました。整備工場の専門家は、「事故車両の修理に特化した技術者による質の高いサービス提供のニーズが高まっている証拠だ」と分析しています。

また、新しい関係の構築を試みる主催者の取り組みを、来場者が「自動車業界の新たなコラボレーション時代の到来を告げるもの」として評価しました。併催プログラムにおいても、自動車のサプライチェーン全体で新規プロジェクトにおけるサポート的な役割が重要性を増している金融および保険業界から幅広い来場者を迎えました。

未来に焦点を当てた 2019 年の併催プログラムは、講演者および来場者から高い評価を受けました。各プログラムは見本市の特性を活かし、業界の傾向と業界の将来をかたち作る様々な影響を来場者へ詳しく説明しました。65 の併催プログラムには以下が含まれます。

- Tomorrow's Service & Mobility Summit
- Automotive Aftermarket Summit
- China Auto Dealer Supply Chain and Financial Innovation Summit
- China International Tyre Industry Conference
- AIAG Auto Parts Purchasing Leadership and Suppliers Summit 2019
- International Bodyshop Industry Symposium (IBIS) China 2019

## 見本市の国際性が一層多様化

中国国外から見本市を訪れた来場者の数は2年連続で増加を記録しました。全来場者159,728名のうち、25%が世界149カ国・地域から訪れました。来場国・地域のトップ10は、台湾、韓国、ロシア、マレーシア、イラン、タイ、インド、日本、トルコ、および米国でした。

また出展については、カザフスタンおよびマカオが新たに加わり、ベラルーシ、リトアニア、サウジアラビアが再出展したことで、前回から3カ国増えた46カ国・地域から出展者を迎えました。また、イギリス、イタリア、スペイン、ドイツ、フランス、ポーランド、トルコ、中東、インド、パキスタン、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、香港、韓国、台湾、日本、および米国の19カ国・地域のパビリオンが開設しました。

今回、日本からは現地法人を含む19社が出展しました。そのうち、初出展の(株)エムリットを含む7社がジャパンパビリオンに出展しました。

エムリット 代表取締役 友田 康治氏は、初出展を終えて次のようにコメントしました。「2018年開催を初めて訪問し、魅力的な見本市であると感じ、今回、自動車部品を製造販売して行く中で、日本からの出展者が少ないこと、その中でアジア圏をはじめとする世界市場へ当社の製品をPRしたく出展しました。来場者はBtoBがほとんどで非常に良かったと感じています。アラブ系の来場者が価格重視である一方、中国の来場者は質を重視していると感じました。日本でも年一回、見本市へ出展していますが、アウトメカニカ上海は規模感が違いました。今回は初めての出展であり、今後のフォローアップがキーとなりますが、継続して出展することで順次成果が上がってくると感じています」

また、Parts & Components エリアで単独出展したデンソー(株)の中国現地法人である電装(中国)投資有限公司にて、カスタマーサービス本部 兼コネクティッド事業本部 本部長を務める加藤敏裕氏は次のように話しています。

「私たちは、アジアにおいて重要な役割を果たすとともに世界最大規模の自動車関連見本市の一つであるアウトメカニカ上海を非常に有意義であると感じています。自動車業界が、そして市場が100年に1度の変革期を迎えている中、この見本市は将来の発展とそれに関わる課題を理解する上で役立ちます。ワークショップを含むさまざまな分野の専門家や、市場がデンソーの製品、サービスに高い期待を寄せていることが分かり、私たちは自社の出展結果に非常に満足しています」

次のアウトメカニカ上海は、2020年12月2日(水)ー5日(土)に開催されます。

詳細は <http://automechanika-shanghai.hk.messefrankfurt.com/>をご覧ください。

以上

## メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、自社で国際見本市会場を保有し、年間売上高約7億3,300万ユーロ\*を誇る、世界でも有数の見本市主催会社です。世界中に30の拠点をもち、全体で2,600人\*を超える従業員が働くメッセフランクフルトは、グループのネットワークを活かして各国間で連携を取りながら、見本市&イベント、地域性、サービスの3つの枠組みで、各地であらゆる産業界を牽引する見本市を開催しています。見本市運営だけでなく、デジタル事業にも注力しているほか、会場の貸出から、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングまで、多角的に顧客企業のビジネスをサポートしています。メッセフランクフルトは、ドイツ・フランクフルトに本社を置き、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。

より詳細な情報は公式ウェブサイトをご覧ください。 [www.messefrankfurt.com](http://www.messefrankfurt.com)

\*2019年暫定数値